

# 平成25年度全国学校給食週間について（文科省）

## 1月24日から1月30日までは、全国学校給食週間です

我が国における学校給食は、明治22年に初めて実施されて以来、各地に広がっていきましたが、戦争のために中断されました。

戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に、学校給食実施の必要性が叫ばれるようになり、昭和21年6月にララ（Licensed Agencies for Relief in Asia、アジア救済公認団体。米国の民間団体）より、給食用物資寄贈の申し出があったことも踏まえ、昭和22年1月から学校給食を再開（「学校給食実施の普及奨励について」昭和21年12月11日文部、厚生、農林三省次官通達）することとなりました。

これを受け、同年12月24日に、まず試験的に、三都県（東京、神奈川、千葉）で、児童約25万人に対して、学校給食を実施することとなり、同日、東京都内の小学校でララからの給食用物資の贈呈式が行われました。

それ以来、この日（12月24日）を学校給食感謝の日と定めていましたが、昭和25年に、ララ、ユニセフ等による給食用物資の寄贈に対する感謝の意を表するとともに、学校給食が戦後再発足した意義を考え、その将来への発展を期し、学校給食による教育効果を促進する機運を高める観点から、新たに冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「学校給食週間」としたところです。

子どもたちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向など、健康状態について懸念される点が多く見られる今日、学校給食は子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。

学校給食週間においては、このような学校給食の意義や役割について、児童生徒や教職員、保護者や地域住民の理解と関心を深めるため、下記の行事例のように、全国で様々な行事が行われます。

具体的には、教育委員会、各学校等にお問い合わせください。

平成24年度の教育委員会、各学校等における行事例

### 1. 教育委員会における行事

（1）学校給食に関するポスター、標語、作文等の募集及び表彰

- ・学校給食標語、学校給食作文コンクールの実施など

（2）学校給食調理コンクールの開催

- ・学校給食レシピコンテストの実施など

（3）学校給食についての研究発表会、講演会、シンポジウム、展示会等の開催

- ・食育の充実を目的とした講演会、食育カルタの展示、庁舎食堂を利用した学校給食の提供など

（4）新聞、テレビ、ラジオ等報道関係の協力を得た広報活動の実施

- ・町内関係者と子供たちが会食する機会を設けその様子取材してもらう広報活動の実施など

### 2. 各学校等における行事

（1）学校給食週間にちなんだ特別献立の作成並びにその実施

- ・地場産物・郷土料理を用いた特別献立、発祥当時の学校給食の実施など

（2）学校給食にちなんだレクリエーション等の実施

- ・箸で豆つかみチャレンジや、学校給食週間中の献立にあわせた児童による学校給食クイズ等のゲームの実施など

（3）児童生徒及びその保護者等を対象とする学校給食や食育、食中毒防止等に関する講演

- ・地場産物や地産地消についての講和や、親子での学校給食試食会の開催、学校給食の歴史や始まりに関する紙芝居の読み聞かせの実施など